

### 盛大に

#### 「退職者を励まし」

#### 新加入を祝う会

4月28日、定期総会につづいてひらかれた表記の会は、一〇〇名近くが集い、にぎやかに行われました。退職者の多くは、勤評闘争後の厳しい情勢のなかで組合に加入されただけに、困難をのり越えてきた想い出を語り、教師として悔い



のない日々を支えてくれた高教組と組合員に謝意を述べました。また新たに高教組に加入した青年教師が決意をのべ、祝福を受けました。

高退協からは52名が参加久しぶりの再会に夜の更けるのも忘れて話に花を咲かせていました。

当日までに16名の退職者が高退協に加入し、新年度は過去最高の三八七名でスタートすることになりました。

### 旅のしおり

軍事政権下ビルマ

三谷隆彦

「六〇歳代は世界史の本を読み外国旅行を、七〇歳代は日本の本を読み国内を旅行し、八〇歳代は天国の本を」と今年の年賀状に書きましたところ「天国ではなく天竺でないか」「天国の良い本を紹介して」「天国の前に宇宙旅行を」「天国は九〇歳代に」などの返事をもらった。

さて、二月にビルマへ行

った。伯父が戦死しており、慰霊の旅であった。このビルマの旅が高知新聞所感維



感に載ると「わしの父もビルマへいちゃった」「私の父もビルマで死んだ。行きたいけど軍事政権が怖い」などの反響があった。私も撃たれるか監禁されるかも知れないと心配した。だが行ってみると、何も危険なことはなかった。若者もパゴダでお経を唱え、国民は信仰心が厚く治安がよい。一人旅もできる。ただ真つ

昼間電気を照らして走ってくる車があると、他の車は道路両側に避けて停止する。この電気を照らして「このけ、このけ」と走るの

は軍人が乗っている車である。また古都マンダレーの丘の上のエレベーターは政府高官が占拠していた。赤い夕日を見た後、下りは我々もエレベーターに乗れた。軍事政権は、内閣を軍人が占めると考えがちであるが、知事や市町村長をも軍部が任命する。国会も建物はあるが、なかは空っぽである。次は五月下旬にモンゴルの草原を馬に乗って走る予定である。

### 短歌

有間皇子遺跡を訪ふ他

榊原忠彦

有間皇子ここに眠りしとかや聞く訪ふ人もなき石室の冷え

師のこころ深くとらへし鉄剣をわれもまた見つその赤錆びを

なくはしき銀線巻太刀そのかみのままなる柄は皇子握りしか

人目引く犬養歌碑に近づきてのち気づくがにあはれ皇子墓

紀三井寺二百四十五段上りたり引き潮白し

和歌浦干潟

### 老眼

横内猛 著

「3日で打てる

こども囲碁入門」

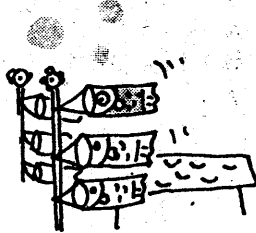
誠文堂新光社

一二〇〇円

西込 曠

金高堂で見つけた。子供の囲碁入門と表題がついているので興味をひいた。全157ページでいつきに読んでみた。

内容はユウキと云う小学四年生の男の子が、おじいちゃんに3日で教えると云



る。また古都マンダレーの丘の上のエレベーターは政府高官が占拠していた。赤い夕日を見た後、下りは我々もエレベーターに乗れた。軍事政権は、内閣を軍人が占めると考えがちであるが、知事や市町村長をも軍部が任命する。国会も建物はあるが、なかは空っぽである。次は五月下旬にモンゴルの草原を馬に乗って走る予定である。

透明のガラス

山本晶子

人の心どこまで残酷になれるのだらう筋弛緩剤点滴死に至らしめし

普通の人が悪魔のやうなことをする病める社会と言ひて久しき

人の心確かに狂ひてゐるらしも信じがたきこと日々起りゆく

心静かに暮らす我にも今の世の不気味さ肌にしみ透りゆく

透明のガラスを割りし悲しみが今日の一日の色調となれり

う手法をとりながら子供向けに解説しようとしたが、かえってむづかしくなっているのではないだろうか。子供のためというより大人のための入門書と言ったほうが良い。付録に「簡易9路盤石セット」がついている。

一九六二年生れの著者は慶大経済学部卒。読売新聞社に入社、囲碁担当として棋聖戦の運営・取材に携わった。従来の入門法に対する再検討、教育や福祉現場での囲碁活用法について精力的に取材。九八年退社。フリージャーナリストとして囲碁の活用法を幅広く取材執筆。入門書の数は相当多い。みなプロ棋士が書いてあるなかで本書はアマが書いたと云う点で格別の意味がある。

高退協親睦囲碁大会は三回を数えた。会員の参加者は十五名、その他が十三名。はるばる室戸から二回参加された石建先生がおられ心強い。初心者歓迎の呼掛けは空振りに終わっている。参加者の最低級は6級だったがこれはもはや初心者ではない。30級くらいまである。親睦交流のためにもポケ防止のためにも囲碁入門をしてみませんか。本当の初心者の参加を期待しています。

もう一冊やさしい入門書を紹介しておこう。

生涯学習のための「囲碁入門」

藤沢一就編集発行

日本棋院 820円



### 第三回高退協

#### 親睦囲碁大会

三月二十五日の右大会の成績

- 一位 田村和夫
- 二位 西込 曠
- 三位 田辺復程
- 四位 谷内純一

- 二〇〇一年度の予定
- 第四回 七月一日
- 第五回 九月一五日
- 第六回 三月二四日

### 第四回高退協親睦囲碁大会 ご案内

日時 7月1日(日) AM10.00~  
(9.30受付)

会場 日本棋院高知県支部囲碁会館  
(大川筋1-3-39  
土佐建材ビル2F) 土佐御苑前

会費 1500円 (昼食代含む)

参加者の範囲: 高等学校・障害児学校・  
私立学校の現職教職員及び退職教職員  
(初心者歓迎)

連絡先 0887-55-3432  
(谷内純一)  
875-9029 (西込 曠)  
862-0488 (野島辰平)  
831-6498 (小川和俊)

※集約日6月20日(これまでにお申し込  
みください)

主催 高等学校退職教職員協議会  
後援 日本棋院高知県支部幹事長  
次回は9月15日(日)

### 高教組だより

委員長 橋元陽一

八名の執行員の新旧交代で今年度の活動がスタートしています。早速に三月三十一日の臨教着任希望者の会で五名、その後新採も含め三名の加入がありました。しかし、退職される仲間の皆さんの教に追いつけず、拡大に奮闘せねばなりません。今全教の百万人対話運動の一環に位置づけて、県立学校のすべての皆さんに「教育に『輪と和』を」と題した情報を配布し、憲法・教育基本法に基づいた学校づくりの共同行動を呼びかかっています。

この間県教委は、今年三月十九日異動発表の前々日、

### 俳句

3月24日 土曜 佐川町 乗台寺  
合田 青幹

庭草履借りて覗くや草池  
弁財天池に奔めく葛蒲の芽  
名園の主石浮島水温む  
奔放に連翹の黄の盛りなり  
小笠原さちを  
椿活け貝母を活けて迎へくる  
大たらよ木瘤こつこつ涅槃西風

突然に「指導力不足教員として十四名を認定したこと」を発表しました。これは昨年来、「実施計画や判定基準については組合の意見も聞く」との確約を破棄したマスコミ発表でした。

県教委は昨年十月、「人事管理のあり方に関する検討委員会」からの第一次提言を受け、弁護士1、精神科医1、教育関係者5、学識経験者2の計9名で構成する諮問機関「資質・指導力向上調査研究会」(非公開)を設置しました。今回この「研究会」からの報告を受けて、県教委が「認定」し、本人には学校長が通知文書を渡す形で行われたようです。県・高教組は対象者を把握できておりません。

校内外での研修やT.T.

### 紙魚のつぶやき

「紙魚のつぶやき」は高退協読書の集書によるユニークな「つぶやき」です。不定期発行です。読書の参考になれば幸いです。お付合いのほどを。(坪井幹之)

とき 五月二十四日 二時  
ところ ムトー荘二〇一号室  
テキスト  
島内一夫「青年」  
不破哲三「世紀の転換点に  
立って」

などの復帰プログラムの策定などは県教委が校長と相談して決定するので、最も必要な現場の支援体制が作られません。「職場復帰が前提である」といいますが、その機能を発揮する制度としては不透明な部分が多く、しかも「判定基準」を使つての「認定手続き」から学校長が関わりますから、校長自身の資質・指導力問題や、恣意的判断の介入の有無等をチェックできる機能がありません。

「大半の者がいくつも該当するじやいか」との声がありました。また8項目中6項目に具体例として「学校内外の関係者からの意見・指導がある」を入れていることなどから、「県民の声」を装い、保護者・教職員を分断し、新たな勤評による管理統制の強化、教員の首切り合理化を狙ったものです。

### 読書会ニュース(2001. 2. 14) 紙魚のつぶやき NO. 2

なぜ「滄海よ眠れ」か  
今回のテキストにこの本を採用していただきましたが、いささかわが興味を皆さんに押しつけ過ぎはしなかったかと、反省しております。ただ小生は、あの戦争に戦車9連隊要員として出征、ちよつとの運命を命拾ひしましたが、サイパンで玉砕しておつたかも知れぬ運命。そして満州にいたらソ連戦車の餌食に。たとえ万死に一生を得たとしてもシベリヤ抑留で凍死しておつたらう。省みると生と死はまさに間一髪の違い。だから、小生にとつてあの戦争は一体何であつたのか?—このことが、わが念頭から離れません。ところが、あの戦争の真実ほどウソとギマンに隠されているものはありません。敗れているのに勝つた勝つたと鳴物入りのウソの報道ばかり。そのために驕慢にさせられ多くの犠牲を強いられることになつたことか。幸い戦後は言論の自由下で、真実を知ろうと思えば店頭で沢山書籍が並べられています。幸い生き残つた者として真実を知ろうとすることは、一そく思っています。(浜田昌俊)

### 活動日誌

#### 【3月】

- 1日 卒業式の「日の丸・君が代問題」ピラの配布(高知市内四校で)
- 5日 「教基法」に関する実行委員会
- 13日 高退協月例事務局会
- 14日 「5・3憲法集会」実行委員会
- 17日 「山の会」定例総会
- 18日 島内一夫先生の出版祝賀会(城西館)
- 22日 「教基法シンポ」実行委員会
- 24日 池本文雄先生の葬儀
- 31日 「教基法の大学習会」(高知城ホール)
- 2日 沖繩基地建設反対

#### ジュゴンを守れ全国平和キャンペーン集会(高知城ホール)

- 6日 「教基法シンポ」実行委員会
- 10日 高退協月例事務局会
- 11日 「5・3憲法集会」実行委員会
- 12日 沢谷校長裁判の傍聴
- 14日 福富恒彦先生の葬儀
- 26日 「5・3憲法集会」の街宣行動(グリーンロード)
- 27日 「教基法シンポ」実行委員会
- 28日 高退協定期総会・退職者を励ます会(高知城ホール)
- 1日 第72回メーデー県中央集会(中央公園)
- 3日 「5・3憲法集会」(RKCホール)